

編集要項

1. LAGUNA（汽水域研究）は、島根大学汽水域研究センターにおいて、年1回発行する。
2. 本誌には、本センターの専任研究部門と共同研究部門の教官，研究員，客員研究員，および編集委員会が特に認めた者が投稿することができる。
3. 編集委員には本センターの専任教官があたる。
4. 本誌の内容は、原著論文（original article）、短報（short note）、資料・解説（review）など、広く汽水域に関わるもの、および本センターの活動に関わるものとする。
5. 執筆者は次項の執筆要項に従うものとする。
6. 投稿原稿の掲載の可否については、関連する研究者の査読を経た後に、編集委員会が決定する。
7. 別刷は50部を本センターの経費から負担する。

執筆要項

1. 投稿原稿の本文の用語は日本語または英語とする。原稿の長さについては特に規定しないが、大部の場合は編集委員が縮小を要求する場合もある。
2. 原稿はできるだけワープロを使用することとする。その場合、1行23文字（半角46字）、1ページ23行、上下左右のマージンを2.5cm以上空けること。句読点は“,”と“.”を用いること。また、文字指定はプリントアウトした原稿に行い、ワープロ原稿には特殊文字を用いないこと。
手書き原稿の場合は、400字詰めA4版横書き原稿用紙を用いること。
なお、刷り上がり1ページは、横書き1行23字、46行の2段組（約2,100字）を基本とする。
3. 数字はアラビア数字、生物和名はカタカナを用い、学名はイタリック指定のこと。時間、濃度、速度などを表す場合には、SI単位を用いること。
4. 報文の構成は以下の通りとする。
日本語原稿の場合：表題、著者名・所属、英文表題、英文著者名・所属、英文摘要（Abstract, 200語以内程度）、英文キーワード（アルファベット順に5語以内）、本文、謝辞、引用文献。
英語原稿の場合：表題、著者名・所属、日本語表題、日本語摘要、キーワード、本文、謝辞、引用文献。
原稿の第1枚目は表紙とし、その上半部には表題から英文所属までを書く。原稿第2枚目には摘要とキーワードを書き、本文は第3枚目から始める。表紙を含め、通しページ番号を打つこと。
5. 本文中での文献の引用は次の例に従う。また、3名以上のものについては、「・・・ほか」または「・・・et al.」とする。
・・・山田・松井（1993）は宍道湖・中海の魚類について・・・
・・・and Avise et al.（1987）speculate that this may have arisen from・・・
・・・植物生態学分野について記述している（吉田，1992；佐藤，1993）。

6. 引用文献は謝辞の次にアルファベット順にまとめ、各文献は次の例に従う。

(論文)

Andrew, N.L. and Jones, G.P. (1990) Patch formation by herbivorous fish in a temperate Australian kelp forest. *Oecologia*, 85 : 57-68.

樋口利雄 (1971) 東北地方の風穴地における鮮類植生. 鮮苔地衣雑報, 5 : 174-178.

Iwakuma, T., Shibata, K. and Hanazato, T. (1989) Production ecology of phyto- and zooplakton in a eutrophic pond dominated by *Chaoborus flavicans* (Diptera : Chaoboridae). *Ecol. Res.*, 4 : 31-53.

八木正一 (1984) 水道におけるかび臭障害の現状. 用水と排水, 26 : 813-822.

山本進一 (1984) 森林の更新 - そのパターンとプロセス -. 遺伝, 38 : 43-50.

(単行本)

北村四郎・村田源 (1971) 原色日本植物図鑑・木本編 I. 保育社, 大阪, 453p.

Parsons, T.R., Maita, Y. and Lalli, C.M. (1984) *A manual of chemical and biological methods of seawater analysis*. Pergamon Press, New York, 173p.

(章)

Dayton, P.K. and Tegner, M.J. (1984) The importance of scale in community ecology : a kelp forest example with terrestrial analogs. In : *A new ecology : novel approaches to interactive systems*. (eds.) Price, P.W., Slobodchikoff, C.N. and Gaud, W.S. pp. 457-481. Wiley, New York.

7. 図 (写真を含む) と表は 1 つずつ別紙に書き、右上端に図・表の番号と著者名を鉛筆書きすること。また、日本語原稿の場合でも、図・表中の言語は、なるべく英文を用いることとし、説明文は英語と日本語の 2 通りで書くこと。なお、説明文は別紙にまとめて書き、本文に続くページ番号を打っておくこと。

図と表は原則としてそのまま製版できる状態とし、縮小率または縮小した場合

の横の長さを指定すること。なお、刷り上がりの図・表の大きさは、原則として横 17cm, または 8 cm, 縦は 24cm 以内となるので、これを考慮して製図、および縮小率の指定を行うこと。

表は、縦の罫線は使わず、横罫線も最小限にとどめること。写真は本文中に掲載する場合は図と同様な番号を用いてよい。独立した写真図版とする場合には、横 17cm, 縦 24.5cm の版面にバランス良く配置し、なるべく原寸大の印刷指定とする。図版中の図を本文中で引用するときには、(図版 I, 図 1), または (Plate I, Fig. 1) のようにする。

8. ワープロ原稿の場合は、なるべくテキストファイルとして保存したフロッピーディスク (使用したソフト名を明記すること)、A 4 版にプリントアウトした原稿 1 部、および図表原稿とそのコピー 1 部を提出すること。フロッピー原稿中では半角以外の文字指定は避けること。プリントアウトした原稿には、字体の指定と図表の挿入位置を赤色で印すこと。

手書き原稿の場合には、本文、図表ともオリジナルとそのコピー 1 部を提出すること。本文原稿には字体の指定と図の挿入位置を赤色で印すこと。

字体の指定は、本文の見出し項目 (たとえば「はじめに」, 「材料と方法」, 「結果」, 「考察」, または「結果と考察」) などは波下線でゴシック指定、学名など、イタリックの指定は下線を引いて行う。

9. 原稿は必要事項を記入した原稿整理カードとともに提出すること。

提出された原稿は原則として返却しない。返却希望者はその旨申し出ること。

原稿募集時に提出してください

LAGUNA（汽水域研究）

投稿申込書

- 以下の通りLAGUNA（汽水域研究）に投稿を予定しています。

年 月 日

著者名

本文は 英文 / 和文 （どちらかに○）

表 題

英文表題

予定原稿枚数	400字×	枚	図表枚数	
	または刷上り	枚程度		枚

連絡先：住所

氏名

TEL.

FAX.

E-mail

（編集委員会記入欄）

原稿提出時に添付してください

LAGUNA (汽水域研究)		原稿整理カード		受付番号	
著 者 氏 名	和文				
	英文				
連絡責任者 氏名	☎				
連絡先	Tel.	Fax.	E-mail		
表 題	和文				
	英文				
用語種別 (○で囲む)	日 本 語 文 英 語 文	原著論文, 総 説, 短 報, ノート, 討 論, 紹 介, 用語解説, 資 料, 書 評, 講演記録, その他			
原 稿	フロッピーディスク; ファイル名 _____ 使用ソフト名 _____ プリントアウト原稿; A4 _____ 枚 (表紙, 要旨, 本文, 図表説明を含む) 図; _____ 枚 表; _____ 枚 図版; _____ 枚 手書き原稿; 400字詰め原稿用紙 _____ 枚 (表紙, 用紙, 本文, 図表説明を含む)				
別 刷	_____ 部 (自己負担) + 50部 (センター負担) = _____ 部				
備 考				原稿発送日 年 月 日	
編集委員会メモ					
原稿受付	査 読	受理日	校 正		校 了
			著者		